

～国籍及び文化的背景などの様々な違いにかかわらず、誰もがその人らしく活躍している社会の実現～

プランの概要

【策定の趣旨】

多様性尊重条例の理念を踏まえ、「誰もがその人らしく活躍している社会の実現」を目指し、成田空港を擁する世界に最も近い県として、各関係主体とともに取組を進める。

【計画期間】

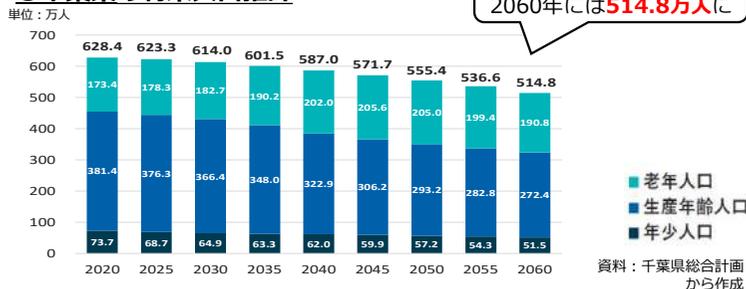
令和6年度～令和9年度

【進行管理】

施策目標ごとに進捗管理指標を設定し、毎年度数値を確認

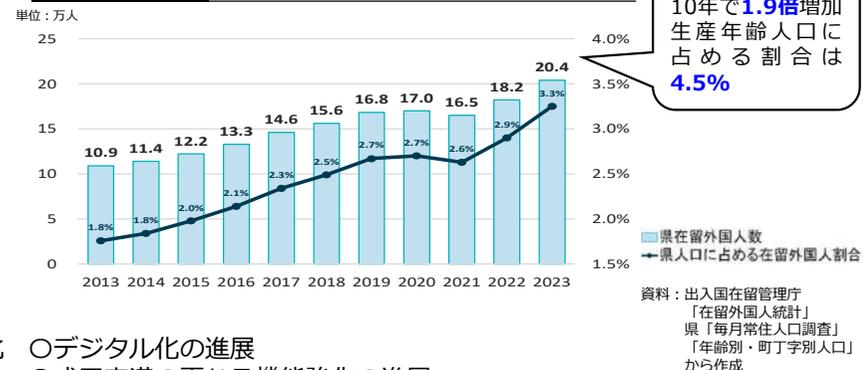
策定の背景

○千葉県の将来人口推計



長期の減少傾向
2060年には514.8万人に

○千葉県の在留外国人数と県人口に占める割合の推移



10年で1.9倍増加
生産年齢人口に占める割合は4.5%

＜近年の主な社会経済情勢の変化等＞

- 育成就労制度の創設等の国の動き
- 国際的な人材獲得競争の激化
- デジタル化の進展
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 気象災害の激甚化等
- 成田空港の更なる機能強化の進展

県政を進める上での重要な視点

【多様性尊重条例の基本理念】国籍及び文化的背景などの様々な違いにかかわらず、全ての県民及び事業者がこれを理解し、尊重し合うことで、誰もがその人らしく活躍している社会の実現
→ **多様性の尊重は、生きづらさの解消や創造性の向上につながり、県全体に活力をもたらす**

目標・施策体系

基本目標

誰もが活躍し、安心して暮らすことにより、将来にわたり社会の活力を生み出せる県づくり

施策目標Ⅰ：活躍

一人ひとりが様々な違いのある個人として尊重され、その人らしく活躍できる県づくり

働き手としての活躍

- 外国人留学生等の就職に向けた支援
 - 外国人採用・定着に関する支援
 - ・留学生等、本県での就職希望者に対するセミナー開催等の支援の充実
 - ・幅広い分野での雇用環境整備等、外国人材の確保・定着の促進
 - ・空港・航空関連産業（外国人材活用の検討）
 - ・介護（留学生と施設のマッチング等）
 - ・観光・宿泊（セミナー開催等）
 - ・農業・水産業（音声通訳器の支援等）等
- ※青字：改訂の主なポイント

地域の担い手としての活躍

- 多文化共生意識の醸成
- 外国人県民の活躍の場づくり
 - ・多様性尊重の意義等についての理解促進のための広報啓発
 - ・市町村における外国人の地域との連携に係る優良事例の展開
 - ・チーバくんグローバルパートナーズの活動機会の増加

コミュニケーション支援

- 地域日本語教育の充実
- 「やさしい日本語」の普及
- 行政相談窓口の多言語対応・多言語や「やさしい日本語」による情報発信
 - ・帯同家族等を対象とした基礎日本語教育の推進
 - ・「やさしい日本語」の研修会の開催、県ホームページ等での対応促進
 - ・外国人相談の対応能力向上

子どもの教育環境の整備

- 外国人児童生徒等教育の指導体制の整備・充実
- 教員・指導員等の養成・確保
- 就学の促進・キャリア形成支援等
 - ・日本語指導が必要な外国人児童生徒への指導体制の一層の充実
 - ・義務教育年齢を超過した外国籍の子どもへの支援体制の充実

防災・防犯・交通安全対策の推進

- 防災情報の「やさしい日本語」化・多言語化
- 災害時の外国人支援体制づくり
- 防犯や交通安全に関する規範意識の醸成
 - ・「やさしい日本語」での防災啓発の充実
 - ・大規模災害時の千葉県災害時多言語支援センターの設置

住宅・医療・保健・福祉の充実

- 住環境の整備
- 医療環境の整備
- 保健・福祉分野における支援
 - ・外国人入居者の割合が高い県営住宅の自治会への音声通訳器の貸出し
 - ・外国人医療に関する関係機関による協議会の設置

施策目標Ⅲ：連携

様々な主体の連携により、活躍・共生を推進する県づくり

外国人活躍・多文化共生の推進のための様々な主体の連携・協働